※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店） 「共通テスト対策 トライアル日本史 探求＋歴史総合」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業で扱う日本史は、周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や日本と諸外国との関係に目を向けながら、日本列島の中での人々の歩みを探るものです。
・歴史上のできごとを単に暗記するだけでなく、それらを関連付けて、現在の問題は「なぜ」生まれてきたのか、その道筋をたどることができるような地図を頭の中に描いてください。
・それぞれの内容に対して「理解する」だけでなく、「考える」や「追究する」姿勢を持ってください。

2　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方や考え方を働かせ、多角的・多面的に捉える力を身に付ける。
・歴史的課題の原因や背景を考察し、他者に理論的に説明する力を養う。
・グローバル化する国際社会を主体的に生きるため、広い視野に立ち、平和で民主的な社会を形成する一員として必要な資質・能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	幕藩体制の成立と展開	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	a:幕藩体制の構造と政治の推移、体制下の経済、17 世紀の文化の特徴について理解している。 b:江戸幕府による支配制度が経済や文化に与えた影響・関係性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制の展開について、諸資料をもとに追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a:幕政改革の背景・内容・結果とそれにともなう社会の変容、幕府権力が衰退する過程、18～19 世紀初めの文化の特徴を理解している。 b:幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 c:幕藩体制下の社会・経済のしくみの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
	近世から近代へ	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足	a:欧米諸国の進出による幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b:日本が直面していた諸課題をふまえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の開国に関わる諸事象と幕末の政治動乱の過程について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	提出ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	近代国家の成立	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定、議会開設に至る過程を理解している。 b: 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
	近代国家の展開	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a:日清・日露戦争と第一次世界大戦に至る背景と戦争の結果・影響について理解している。 b:３つの戦争が、日本国民とアジア近隣諸国民に与えた影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト ワークシート	提出ノート ワークシート
	近代産業と生活	・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a:産業の発達の背景と、それが文化や市民生活に与えた影響を理解している。 b: 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治文化の特色と、マスメディアの発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a:恐慌による経済状況の変化などが軍部の台頭を招いたことに着目し、日本が敗戦に至る過程を理解する。 b: 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 満州事変から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト レポート	提出ノート ワークシート
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a:戦後の占領政策と諸改革の内容と日本が主権を回復する過程を理解する。 b: 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート
3学期	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a: 自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について理解する。 b: 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりしている。 c: 55 年体制の歴史的意義や、1960 年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容 ・日本の現状（国際関係、領域・領土、戦後問題等）	a: 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b: 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c: 冷戦終結後の日本の役割や東アジア諸国における日本の立場について、自ら課題を見出して主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト レポート	提出ノート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度